

第23回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団報告書 団長挨拶

2018年12月4日、第23回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日団一行は日本への8日間の訪問を無事に終えました。中国日本商会、日中経済協会そして訪問先の関係者の多大なるご支援ならびにご協力の下、訪日団は訪れた先々で温かいおもてなしと熱烈な歓迎を受けました。ここに訪日団を代表して、中国日本商会、日中経済協会ならびに日本の皆様のおもてなしに心より感謝申し上げます。

今回の代表団は北京大学、北京師範大学、北京外国語大学、北京科技大学、中国農業大学及び北京林業大学の30名の優秀な学生により構成されています。日本滞在期間中、代表団はJAL整備工場、Panasonic Design Kyoto、ワコール、JA全農、伊藤忠商事、三菱UFJ銀行、ホテルニューオータニといった有名企業の見学の他、大阪大学や東京大学の学生との友好交流、日比谷松本楼での梅屋庄吉氏の曾孫である小坂文乃女史による孫中山、梅屋庄吉両氏の一生の友情についてのスピーチ、特に中国日本商会各会員企業の従業員宅でのホームステイでは、学生らは日本の社会と直に触れ合い、また日本の伝統文化や日本人々の普段の生活を体験することができたなど、充実したスケジュールの下で沢山の収穫を得ることができました。ホームステイを終えお別れをする際そして最終日の歓送会では、多くの団員やホストファミリーの皆さんが名残惜しさから涙する様子を目にするなど、とても感動的でした。日本訪問を通じて、学生らは日本企業の進んだ技術、「人間本位」の経営理念及び社会貢献の精神を深く学ぶと同時に、世界的視野を広げ、見識を深め、日中友好への信念を確固たるものとし、日本の青年との相互理解や友情を深めることができました。学生らは今回の日本訪問を通じて学んだことや日本人々の中国人々への友好感情をその他の学生や周りの家族友人に伝え、初心を忘れず、使命に背かず、実際の行動により積極的に日中友好事業に関わり、両国の民間における友好、特に両国の青年間交流に自分なりの貢献をしたいと述べていました。

2018年は日中平和友好条約締結40周年です。5月には李克強総理が日本を訪れ、10月末には安倍晋三首相が7年ぶりに中国を公式訪問し、中国日本友好協会及び中国人民対外友好協会が共催した日中平和友好条約締結40周年記念レセプションに出席、両国の指導者は翌2019年を「日中青少年交流推進年」とすることに同意いたしました。かつて日中関係は非常に厳しい時期を経験しましたが、日中両国政府及び見識者の努力を通じて両国関係は再び健全な発展の軌道に乗ることができました。国の交わりは民の親しきにあり、民の親しきは心のつながりにあります。青年は国の未来そして希望であり、両国の青年同士の友好交流は一貫して日中友好交流における重要な構成要素でした。正に日中両国の各時代の青年の友好交流が日中両国の友好関係を二千年にわたり継続そして発展させてきたのです。今後日中両国の青年らが交流をさらに拡大し、友好を深め、両国友好の使者そして架け橋となることを心より願っております。中国日本友好協会としましても、日本の各界の皆様と共にこれからも両国の青少年交流に力を注ぎ、日中両国の友好関係の発展及び長きにわたる友好のために新たなこれまで以上の貢献をしていく所存でございます。

最後に、今回の代表団の日本訪問に際して多大なるご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会及び各関連企業そしてホストファミリーの皆様へ、改めまして心より感謝申し上げます。

第23回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団 団長
中国日本友好協会理事
関湧